

令和 6 年度第 4 回足立区地域保健福祉推進協議会「子ども支援専門部会」の質問・意見

田島のぞみ委員

幼稚園・地域保育課

P4、P5

審議調査事項 2 家庭的保育事業の認可手続き及び利用定員の確認について

- ①少子化が進む中、認可保育園や認証保育園、幼稚園での 2 歳児保育が進展している現状において、家庭的保育は足立区においてどのような位置づけとお考えでしょうか。
- ②また、現状における家庭的保育の数や利用者数についても、可能であれば具体的なデータをご提示いただけますと幸いです。

<回答>

- ①定員 5 名以下の家庭的な環境の中、技能・経験を持つ家庭的保育者（保育ママ）が一人ひとりに寄り添ったきめ細かな保育サービスを提供することで、多様化する保育ニーズに応えるとともに、待機児ゼロを維持するうえで重要な役割を果たしています。

- ②家庭的保育事業の現状（令和 6 年 1 2 月 1 日時点）

|      |       |
|------|-------|
| 施設数  | 93 施設 |
| 利用者数 | 302 人 |

青少年課

P7

報告事項 1 令和 8 年度あだち放課後子ども教室の民間事業者への委託の検討について

- ①課題(2)で見守りスタッフ不足とありますが、主な原因は何であると考えていますか？現状どれくらいの不足になっていますか？地域によってスタッフ不足の差はありますか？

<回答>

見守りスタッフ（以下、スタッフ）不足の主な原因として、以下の 2 点が挙げられます。

- 1 就労ではなく、ボランティアであるため

スタッフはいわゆる有償ボランティア（1 時間謝礼 1,113 円）としての活動であり、活動時間も平日午後 2～3 時間程度である。そのため就労を希望する方は、就労機会があればそちらを選択してしまう傾向にある。

- 2 活動内容が負担

裏面あり

スタッフ希望者は高齢の方も多く、見守り活動は体力を要することの他、児童との接し方やケガ・トラブル対応もあり、これらのことに負担を感じる方は、実際の活動になると辞退してしまう傾向にある。

現状、スタッフの不足に関しては、全67校中40校程度で発生している。また地域による偏りは見受けられない。

②委託化によるデメリットで財政負担が大きいとありますが、具体的にどれくらいの負担になると現時点では予想されていますか？また利用料として保護者への負担もあるのでしょうか？

<回答>

現時点で想定している財政負担額は以下のとおりです。

見守りのみの委託した場合 (1校あたり) 17,000千円

見守りの委託へ学習や体験活動を付加した場合 (1校あたり) 20,500千円

現時点では、利用料として保護者への負担は想定していません。